

# 東風だより

題字 木村夏子先生

宇美東小学校区コミュニティ通信



第 22 号

発刊日: 令和 4 年 10 月 15 日  
発行所: 宇美東小学校区コミュニティ運営協議会  
住所: 〒811-2125 宇美町宇美東 3 丁目 8-1

## さつま芋苗植付け体験会

(環境部会・子供育成部会)

5月21日(土)に、役員と協力者9名で、さつま芋苗植付けの事前準備として、畝に雑草が繁茂するのを防ぐためのマルチシート張りを行いました。

翌22日(日)は、晴天の下、9時半から約1時間、コロナ対策を行い、苗植え体験会を行いました。これには、事前募集していた小学生12名が参加してくれ、役員と協力者12名の指導・支援を受けて150本のさつま芋苗の植付けと十分な灌水をおこないました。

10月の秋の収穫には、5年生にも声掛けをする予定です。多くの子供達の参加を待っています。



## ビオトープ除草

(環境部会)

5月22日(日)、さつま芋苗の植付け後、ビオトープの草刈り・清掃作業を行いました。



## 福岡市民防災センターでの研修

(防災部会)

6月14日(火)、参加者17名が福岡市早良区にある防災センターで体験コースの研修を受けました。

体験コースでは、(1)VR防災体験、(2)火災発生時の煙からの避難体験、(3)水消火器での消火訓練、(4)地震体験を、その後、「一般家庭の火災について」の講習(30分程度)を受講されました。



## 一本松池清掃

(環境部会・地域ふれあい部会)

6月25日(土) 8時半より、一本松池の清掃を行いました。令和2・3年度がコロナの影響で開催出来なかった事、及び今回もコロナの発生などで、池の中の堆砂や岩が予想よりはるかに多く、又、参加者が前回の令和元年度の約90名に対し、今回は約30名と激減した事により、完全な清掃は出来ませんでした。今回の掃除に対する問題点を取り纏め、今後の掃除が滞りなく出来るようにします。



## 校区コミュニティ シンポジウム ～ みんなで「うみだす」地域の力 ～

7月22日(金) 19時から20時30分まで、うみ・みらい館多目的室にて開催されました。

このシンポジウムは、校区コミュニティが本格的に活動を開始して5年経過したので、これまでの成果と、これからの活動方針の再確認と多方面のアピールの場とする目的で行われました。

安川町長始め、副町長、教育長、町議会議員、町内各学校長の代表のご臨席を賜り、来賓を代表して安川町長、及び古賀町議会議長のご挨拶を頂きました。

なお、来賓紹介・挨拶の前に、校区コミュニティ会長の紹介と、その代表者として鶴川桜原コミュニティ会長の挨拶がありました。

また、講師として、宇美町共働のまちづくり推進委員会の委員長も務められた今泉重敏先生(まちづくり計画研究所)をお招きし、各校区事例発表の講評、及び総評を頂きました。

参加者は、コロナの影響も有り、各コミュニティから最大10名と制限したので、55名でした。



校区事例発表は、原田、桜原、井野、宇美、宇美東の各コミュニティの順に行われ、各発表に対し、今泉先生の講評がありました。

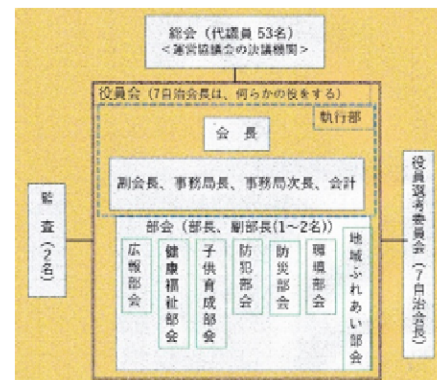
宇美東校区コミュニティの事例発表内容は、以下の通りです。

### 1) 校区の特徴

- ・ 宇美東小学校区は、町の東部に位置し、2,780世帯、人口5,923人を擁する地域。
- ・ 三郡山系の麓、一本松公園(昭和の森)に代表される緑豊かな森林と、山からの豊富な水の恩恵を受けた農耕地が広がっている。また、
- ・ 1268年の文永の役の時に、菅崎宮のご神体が安置された極楽寺の跡など、古い神社・仏閣もあり、地域の歴史を感じる一方、
- ・ 1980年代に宅地開発された「とびたけ区域」、及びその周辺地区には若い世代の転入者があり、若いエネルギーを感じる。

### 2) 校区の特徴的な活動

- ・ 「助け合って、住みよい地域に！」を合言葉に、
  - ① 健康で楽しい地域にしよう、
  - ② 郷土愛を持った子供に育てよう、
  - ③ 安全安心な地域にしよう、
  - ④ 恵まれた自然環境を守ろう、
  - ⑤ 校区内の交流を促進しようを柱とし、施策を考え、7部会が地域活動を行っている。
 各部会の活動は、皆さんに毎回の「東風だより」でお知らせしている内容を掻い摘んで説明。



### 3) 校区の今後の方向性

- ① 地域が必要とし、住民が安心して住める事業の推進
- ② 学童が安全で安心して勉学・遊びが出来る事業の推進と環境作り
- ③ 若い世代が協働するコミュニティ創り

上記発表にに対する今泉先生の講評は、

- シンボル・ロゴマークの存在は、何となくイメージが湧く。

・ 以下文章は、ロゴマークを公募した時の説明文です。

宇美東小学校区コミュニティが7自治区から構成されることから、7色を持つ虹を取り入れられました。また底辺に若杉山から宝満山の遠景を入れました。

虹色の旗は「多様性」「共存」の象徴として用いられている事から、当コミュニティが各々の多様性を認めつつ、共存して活動していくことに願いを込めました。また、「宇美東」の緑色は、地区周辺の緑豊かな情景を表しています。

- 校区の特徴的な活動に、まちづくりのスローガン「助け合って、住みよい地域に！」を持って来ている事は非常に重要な事である。
    - ・ スローガンがある事により、10年後～20年後の活動がぶれない。
    - ・ スローガンで住民の心を一つにする。
    - ・ 各プロジェクトの経緯・趣旨・課題を明記し、次の事業の時に参加者に説明する。そうすれば、参加者全員が事業を理解する。
    - ・ 地域内の「世間遺産」を見付け登録する。そのためには、「やる木(気)・根木(気)・元木(気)」が必要である。
  - 宇美東元気フェス(コロナに負けんばい！元気うみ創造プロジェクト)
    - ・ 子供をターゲットにして、昔の遊びも考えているのが良い。
- この後、今泉先生の総評が有りました。
- 一般住民のまちづくりへの参加促進。
    - ・ 2割は前向き、6割が様子見、後の2割が足引っ張り組なので、一般住民を参加させる。そのために、各戸・個人が関心を持つ安全・安心なまちづくりを目指す。その結果、「絆」が生まれる。
    - ・ 一戸・一美運動：家の前に何か美しいもの(花・川柳や俳句の短冊、等)を置く。
  - 活動のポイント。
    - ・ 笑顔を絶やさず、楽しみながら活動しよう！
    - ・ 空いた時間を使って、家族や個人でやれるまちづくりの実践！
    - ・ 校区コミュニティ活動の見える化の推進！

「東風だより」は「宇美町ホームページ」でも見る事が出来ます。

「宇美町ホームページ」->右下にある「みんなで作ろう元気な地域コミュニティ」->「宇美東小学校区コミュニティ運営協議会」->「広報誌」とクリックして下さい。

編集後記： コロナは第7波に入り、福岡県では「福岡コロナ特別警報」が発令されていますが、「三密」を避け、検温・手の消毒などのコロナ対策を施しながら活動を行っています。今回は、校区コミュニティ シンポジウムの様子をお伝えしています。

\* 広報誌は皆様のもので、皆様のご投稿・ご意見をお待ちしております。